

款 8 土木費 項 1 土木管理費 目 1 土木総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
339,693,121 円	円	円	円	1,485,886 円	338,207,235 円

2 土木管理事業 予算現額 14,816,000 円
 事業決算額 11,807,825 円
 予算執行率 79.7 %

《 事業概要 》

都市計画部、建設部及び下水道部（以下「建設3部」という。）の土木事業に関わる賠償金のほか、津北工事事務所及び津南工事事務所に係る維持管理経費など、土木事業全般に係る経費の執行を行った。

なお、執行率が79.7%となった主な要因は、委託料（弁護士着手金）や負担金（産業廃棄物税負担金）について、案件がなかったため不執行となったことによる。

《 事業評価 》

建設3部の土木事業に直接関わらない賠償金など、個々の事業に直接属さない経費について、今後も効率的な執行を図っていく。

担当 都市計画課
 建設政策課

款 8 土木費 項 2 道路橋りょう費 目 1 道路橋りょう総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
992,648,608 円	23,697,949 円	7,231,500 円	円	17,800 円	961,701,359 円

2 道路管理事業 予算現額 128,218,000 円
 事業決算額 121,060,134 円
 予算執行率 94.4 %

《 事業概要 》

幹線道路の整備、促進に係る国、県等との調整業務及び道路・水路と民有地との境界査定、市道の認定、道路台帳の整備・管理業務、道路・水路の占用許可業務、占用料の徴収等の業務を行った。

《 事業評価 》

道路管理における事務の適正な執行を行うことにより、道路台帳整備については台帳統合を含め計画どおり進めることができた。

担当 建設政策課
 事業調整室

3 地籍調査事業

予算現額 10,469,000 円
 事業決算額 10,258,566 円
 予算執行率 98.0 %

《 事業概要 》

国土調査法に基づく「国土調査」の一つで、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積の測量を行い、その結果を公図及び登記簿への反映を行う。美杉町地区の地籍調査を行った。

《 事業評価 》

本年度においては、新最終処分場建設に伴う関連事業との調整を図るため優先的に美杉町を実施した。今後においては、地籍調査業務を行うことにより官民の境界立会いの軽減、公共事業の推進、災害復旧の円滑化が図られるため、引き続き計画的に事業を進めていく。

担当 建設政策課

款 8 土木費 項 2 道路橋りょう費 目 2 道路維持費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,141,960,577 円	18,100,000 円	円	189,700,000 円	738,360 円	933,422,217 円

1 道路維持事業

予算現額 1,199,080,000 円
 事業決算額 1,141,960,577 円
 予算執行率 95.2 %

《 事業概要 》

道路利用者が安全、快適に通行できるよう道路機能を維持することを目的に、道路、水路及び附帯構造物の老朽、破損箇所などの修繕、補修を行った。また路肩等の除草業務及び清掃業務を行い、生活基盤である道路施設の維持管理を行った。

津北工事事務所

区分	施工箇所数	内容	金額(円)
道路維持工事	92	舗装復旧、側溝整備等	295,168,097
水路維持工事	11	水路改修等	34,685,791
環境整備事業工事	5	道路側溝、舗装等	139,014,887
路肩草刈等業務委託	74	草刈等	32,633,789

津南工事事務所

区分	施工箇所数	内容	金額(円)
道路維持工事	44	舗装復旧、側溝整備等	106,843,019
水路維持工事	9	水路改修等	29,269,312
環境整備事業工事	6	道路側溝、舗装等	61,313,537
路肩草刈等業務委託	60	草刈等	38,841,864

《 事業評価 》

維持管理を行うことにより、道路施設の保全維持に寄与することができた。引き続き安全で快適な生活環境を保全するため、地元関係者と協議しながら、道路施設の維持保全等の改修を緊急性の高い箇所より順次進めていく。

担当 建設維持課
 津北工事事務所
 津南工事事務所

款 8 土木費 項 2 道路橋りょう費 目 3 道路新設改良費

決算額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
665,129,455 円	177,515,100 円	円	210,000,000 円	円 277,614,355 円

1 道路新設改良事業

予算現額 872,768,000 円
 事業決算額 665,129,455 円
 予算執行率 76.2%

《 事業概要 》

道路整備計画により、市内の広域交流を促進する道路整備を対象とし、地域の活性化を図るため、幹線道路へのアクセスの改善や、現道拡幅を行い、円滑な交通の確保、安全性に配慮した道路整備を行った。

なお、執行率が76.2%となった主な要因は、道路新設改良事業（事業費：156,378,000円）を平成21年度へ繰越したことによる。

○地方道路整備臨時交付金事業

津北工事事務所

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
広明町河辺町線道路改良工事	河辺町	道路新設 延長650.0m 幅員11.0m 橋りょう上部工・下部工1式	98,110,016

津南工事事務所

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
逢坂線道路改良工事	美杉町八知	道路新設 延長160.0m 幅員8.0m	25,879,787
逢坂線道路改良(舗装)工事	美杉町八知	道路舗装 延長1,352.0m 幅員8.0m	59,189,807
井生波瀬線道路改良工事	一志町井生	道路新設 延長100.0m 幅員7.0m	67,861,468

○市単独事業

津北工事事務所

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
垂水半田線道路改良工事	垂水及び半田	交差点改良 補強土壁工142㎡ 側溝工188.2m 舗装工859㎡	19,270,440

津南工事事務所

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
城山高茶屋小森町第3号線道路改良工事	高茶屋小森町	道路拡幅 延長97.0m 幅員4.0m	10,142,745
寺広本線道路改良工事	美杉町八手俣	道路拡幅 延長65.0m 幅員6.5m	13,349,031
小山116号線道路改良工事	一志町小山	道路拡幅 延長169.0m 幅員4.0m	11,186,068

《 事業評価 》

交付金事業においては計画どおり整備を進めることができ、市単独事業においても、地域間アクセスの向上や安全性の確保を図ることができた。今後も引き続き幹線道路へのアクセスの改善や現道拡幅を行い、円滑な交通の確保を図るとともに、安全性を配慮した道路整備に努めていく。

担当 建設維持課
 津北工事事務所
 津南工事事務所

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
29,676,810 円	円	円	円	円	29,676,810 円

1 橋りょう維持事業

予算現額 30,000,000 円
 事業決算額 29,676,810 円
 予算執行率 98.9 %

《 事業概要 》

橋りょうの保全、補強による安全性の向上を図り、継続的に利用者が安心して通行できる橋の確保を目的に橋りょうの修繕、落橋防止、塗装等の維持補修を行った。また、従来型の事後的修繕から予防保全的修繕を行えるように、橋りょう長寿命化修繕計画基本方針の策定を行った。

委託名	対象区域	委託内容	金額 (円)
橋りょう長寿命化修繕計画基本方針策定業務委託	市内全域	長寿命化修繕計画策定基本計画方針検討・点検マニュアル策定	11,445,000

津北工事事務所

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
片田田中町ほか5町地内橋りょう修繕工事	片田田中町ほか5町	防護柵等	5,298,096

津南工事事務所

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
戸木町地内橋りょう (防護柵) 修繕工事	戸木町	橋りょう用防護柵 85m	1,060,500
一志町片野ほか2町地内橋りょう (防護柵) 修繕工事	一志町片野ほか	橋りょう用防護柵 87m	819,000
美杉町八知地内橋りょう (防護柵) 修繕工事	美杉町八知	橋りょう用防護柵 170m	2,415,000

《 事業評価 》

橋りょうの維持管理を適正に行うことにより、橋りょうの安全性を確保することができた。今後も引き続き老朽化等している施設の修繕を行うとともに、計画的に予防保全型の維持管理が出来るように橋りょう長寿命化修繕計画を策定していく。

担当 建設維持課
 津北工事事務所
 津南工事事務所

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
75,981,857 円	円	円	円	円	75,981,857 円

1 交通安全施設等整備事業 予算現額 30,084,944 円
 事業決算額 28,770,929 円
 予算執行率 95.6 %

《 事業概要 》

道路を通行する歩行者、車両等の安全確保を図るため、道路反射鏡、防護柵、視線誘導標、区画線、道路照明灯等の設置を行った。

津北工事事務所

区 分	施工箇所数	内 容	金 額 (円)
交通安全施設整備工事等	5	防護柵設置、街路灯設置等	1,942,500
道路反射鏡等設置委託等	63	道路反射鏡、防護柵設置等	12,086,116

津南工事事務所

区 分	施工箇所数	内 容	金 額 (円)
交通安全施設整備工事等	6	防護柵設置、街路灯設置等	5,856,900
道路反射鏡等設置委託等	64	道路反射鏡、防護柵設置等	7,890,168

《 事業評価 》

安全で安心な道路環境づくりに向け交通安全施設を整備することにより、道路通行者の安全確保に寄与することができた。今後も引き続き公安委員会、教育委員会、地元等と連携して、交通安全施設の更新や整備を推進していく。

担当 建設維持課
 津北工事事務所
 津南工事事務所

2 交通安全施設等維持事業 予算現額 47,315,056 円
 事業決算額 47,210,928 円
 予算執行率 99.8 %

《 事業概要 》

道路交通の安全確保のため設置されている交通安全施設の老朽化、破損等による施設の修繕及び改修、改良等を行った。

津北工事事務所

区 分	施工箇所数	内 容	金 額 (円)
交通安全施設修繕等	263	街路灯、区画線修繕等	31,953,444

津南工事事務所

区 分	施工箇所数	内 容	金 額 (円)
交通安全施設修繕等	146	街路灯、区画線修繕等	14,788,846

《 事業評価 》

交通安全施設の保全を図り、道路を通行する歩行者、車両の交通安全環境の維持に寄与することができた。今後も引き続き交通安全施設の維持保全等の改修を緊急性の高い箇所より順次進めていく。

担当 建設維持課
 津北工事事務所
 津南工事事務所

款 8 土木費

項 3 河川費

目 1 河川総務費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
133,532,239 円	600,000 円	円	900,000 円	円	132,032,239 円

2 河川管理事業

予算現額 2,620,000 円
 事業決算額 2,301,665 円
 予算執行率 87.8 %

《 事業概要 》

河川関係協会負担金、県河川協会他5団体へ負担金1,544,000円を負担した。また、河川事業の促進のため、河川関係協会等と国・県へ事業要望活動を行った。

《 事業評価 》

地元関係団体と、国・県への事業要望活動を行い、特に県事業である相川基幹河川改修事業への要望を行い、事業推進を図ることができた。

担当 事業調整室
 建設維持課

款 8 土木費

項 3 河川費

目 2 河川維持費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
81,515,883 円	円	円	14,800,000 円	638,750 円	66,077,133 円

1 河川維持事業

予算現額 81,942,000 円
 事業決算額 75,737,883 円
 予算執行率 92.4 %

《 事業概要 》

準用河川、幹線水路、調整池等の土砂しゅんせつ及び草刈等の委託や改修工事を行った。

津北工事事務所

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
河川・排水路及び調整池等の草刈業務委託	毛無川ほか	準用河川・排水路及び調整池等の草刈	8,637,394
河川・排水路及び調整池等のしゅんせつ業務委託	藤方地内排水路ほか	準用河川・排水路及び調整池等の土砂等のしゅんせつ	10,119,900

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
準用河川小川改修工事	半田	延長 15m 幅4.0m 高さ1.5m	3,555,339
準用河川朝日新川河床整備工事	安濃町栗加	護床工 788㎡	3,805,369

津南工事事務所

委託名	委託場所	委託内容	金額(円)
河川・排水路及び調整池等の草刈業務委託	月見川ほか	準用河川・排水路及び調整池等の草刈	10,455,201
河川・排水路及び調整池等のしゅんせつ業務委託	高郷井水路ほか	準用河川・排水路及び調整池等の土砂等のしゅんせつ	3,060,750

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
幹線水路岩ノ谷川改修工事	美杉町八知	延長 21.8m ブロック積 62m ²	4,720,353
準用河川大滝川改修工事	一志町井生	延長 25.1m L型水路 25.1m	4,075,309
幹線水路日神川改修工事	美杉町太郎生	延長 15.5m 底張工 8m ² ブロック積工 17m ²	1,547,263
高郷井水路改修工事	高茶屋2丁目	延長 56m ブロック積工 114m ² L型水路40.9m 暗渠工14.0m	16,352,665

《 事業評価 》

降雨等による排水能力を高め、河川の氾濫等の浸水被害の低減を図ることができた。今後も引き続き河川の維持保全等に努め、緊急性の高い箇所より順次進めていく。

担当 建設維持課
津北工事事務所
津南工事事務所

2 急傾斜地崩壊対策事業

予算現額 5,778,000 円
事業決算額 5,778,000 円
予算執行率 100.0 %

《 事業概要 》

県事業である急傾斜地崩壊対策事業を円滑に進めるため、県・地元との調整及び茶屋垣内地区県施工事業、上津部田地区県施工事業他2事業の負担金5,778,000円の負担を行った。

《 事業評価 》

県事業へ負担を行うことにより、地域住民の安全性の確保ができた。今後も引き続き、県への要望を行っていく。

担当 建設維持課

款 8 土木費

項 3 河川費

目 3 河川改良費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
40,701,302 円	11,400,000 円	円	17,100,000 円	円	12,201,302 円

1 河川改修事業

予算現額 41,820,000 円
 事業決算額 40,701,302 円
 予算執行率 97.3 %

《 事業概要 》

準用河川五六川の改修事業は、平成2年度から第一期、第二期事業として、1,420mの河川改修が完了し、今回の区間は第三期事業として171mを整備する。

当区間は、降雨時における上流農地からの排水が、現況の河川断面では、狭隘で流下能力が低く、市街地へ流入し、被害を起こしていることから、河川断面を確保し、流下能力を高め、浸水被害の軽減を図ることを目的に、平成20年度は、護岸工事を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
準用河川五六川改修工事	一身田大古曾	延長 80m ブロック積 716m ²	37,828,345

《 事業評価 》

計画どおり進めることができたが、平成21年度以降は、県道の橋りょうに係る事業となり、埋設物の支障移転補償費など、多額の事業費が必要となるため、国・県へ事業費の増額要望を行い、事業の推進に努めていく。

担当 建設維持課
 津北工事事務所

款 8 土木費

項 3 河川費

目 4 河川施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
324,304,905 円	円	877,480 円	139,400,000 円	9,000 円	184,018,425 円

1 排水施設維持管理事業

予算現額 140,646,000 円
 事業決算額 138,264,495 円
 予算執行率 98.3 %

《 事業概要 》

大雨による浸水被害を防ぐため、市内の排水機場27箇所について、日常の点検業務や修繕等を効率的に執行し、排水能力の維持向上を行った。

修繕料

区分	施工場所	内容	金額 (円)
上野樋門ゲート取替修繕	高茶屋小森上野町	ゲート1門取替修繕	10,500,000
豊津川ポンプ場屋外電気配管取替修繕	河芸町一色	屋外電気配管取替修繕	3,605,700
白塚排水機場2号ポンプ用エンジン分解修繕	白塚町	2号ポンプ用エンジンクラッチ分解修繕	3,118,500

維持管理業務委託料

委託名	委託場所	委託内容	金額(円)
排水機場各種維持管理業務委託	各排水機場	排水機場のポンプ設備・電気設備・消防設備等の運転・保守点検業務委託	12,608,993
排水機場遊水池等しゅんせつ業務委託	白塚排水機場 小向排水機場	排水機場の土砂等のしゅんせつ	12,393,150
排水機場遠方監視集中システム保守点検業務委託	中央監視室ほか15箇所	排水機場遠方監視集中システムの保守点検業務委託	6,405,000

工事請負費

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
一身田排水機場改修工事	一身田平野	外壁及び防水改修	12,716,029
中山排水機場遠方監視集中システム設置その他工事	栗真中山町及び殿村	遠方監視盤(親局)、遠方監視盤(子局)親局機能増設	7,140,000
大正樋門排水機場屋根改修工事	高茶屋小森町	屋根改修	5,712,000

《 事業評価 》

適正な維持管理を行い、排水機能の適正な確保ができた。

担当 下水道施設課

2 排水施設整備事業

予算現額 319,329,000 円
事業決算額 186,040,410 円
予算執行率 58.3 %

《 事業概要 》

排水施設の整備については、施設の稼働状況や老朽度、保守点検の結果等から整備計画を策定し、効率的な事業選択を行い排水対策の推進を行った。

なお、執行率が58.3%となった主な要因は、地域活性化・生活対策として予算計上した排水機場改修事業(事業費:133,200,000円)を平成21年度へ繰越したことによる。

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
横川排水機場施設改修工事	栗真中山町	ポンプ設置 除塵機設置 電気設備設置	149,606,100
芦原排水機場1号及び2号除塵機設置工事	河芸町上野	除塵機設置	36,333,150

《 事業評価 》

排水機場の改修による機能の向上、遠方監視集中システムの整備による維持管理の効率化を図ることができた。

担当 下水道施設課

款 8 土木費 項 4 港湾費 目 1 港湾管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
66,720,556 円	円	121,000 円	円	1,418,772 円	65,180,784 円

1 港湾・海岸維持管理事業 予算現額 757,000 円
事業決算額 212,659 円
予算執行率 28.1 %

《 事業概要 》

県からの受託事務として、重要港湾津松阪港（津港区）に出入する内外貿貨物の取扱量等の港湾統計調査のほか、水難救護法に基づく漂流物等の処理及び御殿場海岸広場や雲出臨港緑地の維持管理を行った。

なお、執行率が28.1%となった主な要因は、修繕料の不執行及び雲出臨港緑地の管理委託業務が予定価格に達せず、不調に終わったことに伴い、委託料に不執行が生じたことによる。

《 事業評価 》

港湾統計調査や漂流物等の処理を適正に行うことができ、また御殿場海岸広場や雲出臨港緑地の維持管理に努め、市民が憩える場所の提供ができた。

担当 建設政策課
建設維持課

2 港湾整備事業 予算現額 4,260,000 円
事業決算額 3,659,558 円
予算執行率 85.9 %

《 事業概要 》

重要港湾津松阪港の港湾計画に基づき、港湾整備等の事業化を図るため、県との協議・調整等を行うとともに、県が実施する公共土木施設維持管理事業（海岸清掃）地元負担金1,000,000円や県単港湾改修地元負担金1,000,000円等の維持管理や改修に係る事業費の負担を行った。

《 事業評価 》

港湾の施設整備や海岸の環境整備（海岸清掃等）について、管理者である県と連携し整備や維持管理を行うとともに、関係機関等と連携し、港湾の整備促進に向けた活動などを行った。

また、国土交通省直轄のふるさと海岸整備事業を促進し、安全かつ海辺とふれあえる美しい景観をもった潤いある海岸空間の創出を図り、景観の維持や市民の安全・安心に努めることができた。

担当 事業調整室
建設維持課

3 津なぎさまち管理運営事業 予算現額 62,873,000 円
事業決算額 62,848,339 円
予算執行率 100.0 %

《 事業概要 》

海上アクセス拠点である津なぎさまちにおいて、指定管理者制度による施設の適正な維持管理を行い、市民の憩いの場の提供に努めた。また、安定した運航事業を確立するため、運航事業者や関係部局等と連携しながら利用促進に努めた。

区分	内容	金額(円)
海上アクセス拠点管理委託	指定管理者による施設の維持管理	37,479,000
駐車場用地借上料	第2～第5駐車場 計320台	22,092,000

《 事業評価 》

指定管理者制度により施設利用者の利便性、快適性に配慮した適正な施設の管理運営を行うことができた。運航事業については、燃料費高騰と経済不況による厳しい状況の中、利用客の減少が見られたため、今後は、運航事業者と連携し、安定した運航に向けて更なる利用促進に係る取組が必要である。

担当 交通政策課

款 8 土木費 項 4 港湾費 目 2 ヘリポート運営費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,044,199 円	円	円	円	円	1,044,199 円

1 伊勢湾ヘリポート管理運営事業	予算現額	1,061,000 円
	事業決算額	1,044,199 円
	予算執行率	98.4 %

《 事業概要 》

指定管理者制度による安全性の確保に留意したヘリポートの適正な管理運営を図るとともに、伊勢湾ヘリポート事業推進協議会との連携のもと、ヘリポートの円滑な運営を行った。

《 事業評価 》

平成20年度は、事業者撤退の影響から収入の減少が見られたが、指定管理者においては一般管理費の削減を図るなど、損失額の抑制に努めることができた。

今後は、指定管理者と連携を図りながら効率的かつ柔軟な管理運営と更なるコスト削減を推進していくとともに、新規事業者の誘致に努めるなど、ヘリポートの更なる利用促進を図っていく。

担当 交通政策課

款 8 土木費 項 5 都市計画費 目 1 都市計画総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
658,993,982 円	13,650,000 円	17,855,000 円	円	65,992,350 円	561,496,632 円

2 交通政策関係事業	予算現額	175,639,000 円
	事業決算額	143,090,056 円
	予算執行率	81.5 %

《 事業概要 》

市自主運行バス、市民自主運行バス事業への補助、コミュニティバス等運営事業を行った。

○市自主運行バス委託料 延べ利用者数 136,041人 金額 38,217,900円

収支の悪化により廃止となった民間事業者による営業バス路線を、市民の日常生活における移動手段の確保のため、業務委託により廃止代替バスとして維持を図った。

なお、対象路線は5路線（三行線、津新町大里線、安濃線、亀山棕本線、多気線）である。

○市民自主運行バス事業補助金 延べ利用者数 18,183人 金額 4,000,000円

既存路線バスとの連携を保ちながら市民の交通手段の充実を図り、交通の利便性の確保に寄与することを目的として、市民が主体となって実施された事業に対し補助を行った。

○コミュニティバス等運営事業

各地域のコミュニティバス等の事業を運営した。

内 容	延べ利用者数 (人)	金 額 (円)
河芸町バス	13,323	3,231,999
芸濃町コミュニティバス	9,128	10,580,920
美里コミュニティバス	8,730	20,423,550
一志町乗合タクシー	4,228	9,630,390
白山町コミュニティバス	26,917	29,565,900
美杉コミュニティバス	7,530	26,506,892

《 事業評価 》

合併後3年は合併時の運営事業を継続する調整内容に基づき、市自主運行バス、市民自主運行バス事業への補助、コミュニティバス等、確実に運営事業の継続に努めることができた。
(利用者数:平成20年度総延べ人数 224,080人)

担当 交通政策課

3 都市計画関係事業

予算現額 24,729,000 円
事業決算額 22,110,450 円
予算執行率 89.4 %

本市の発展と秩序ある整備を図り、もって国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため、本市における土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業等の方針及び計画を定めるとともに、都市計画の決定及び変更等を行う。

(1) 都市計画関係事業(都市計画審議会)

《 事業概要 》

本市の土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業等に関する計画について、都市計画法に基づき、都市計画審議会において決定及び変更等を行うほか、国土利用計画法、公有地の拡大の推進に関する法律に基づく事務を行った。

区 分	委員数(人)	開催回数(回)	都市計画変更件数(件)	報 酬(円)
都市計画審議会	15	1	1	126,000

区 分	件 数 (件)
都市計画法第58条の2第1項に基づく届出 (地区計画)	53
都市計画法第53条第1項に基づく許可	28
国土利用計画法第23条第1項に基づく届出	25
公有地の拡大の推進に関する法律第4条第1項に基づく届出	15
公有地の拡大の推進に関する法律第5条第1項に基づく申出	2

《 事業評価 》

都市計画審議会において都市計画決定の変更を行ったほか、都市計画法、国土利用計画法、公有地の拡大の推進に関する法律に基づく届出、許可等の事務を適正に行うことができた。

(2) 都市マスタープランの策定

《 事業概要 》

都市マスタープランの策定期間については、平成19年から21年末を予定しており、平成20年度については第1次案の作成作業に係る業務として、関連資料の整理等を行うとともに、都市マスタープラン懇談会、地域審議会への説明、意見聴取等を行うなど、計画的な策定業務を進めた。

《 事業評価 》

本市の健全な発展と秩序ある整備に資する土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する方針等、都市づくりの基本的な方針を明らかにする都市マスタープラン策定業務について、第1次案を作成するなど、策定目標の平成21年末に向け、計画的に進めることができた。

(3) 新都心軸整備関係事業

《 事業概要 》

交流拠点である津なぎさまちから大門・丸之内地区を経て、新産業交流拠点の形成を目指す津インターチェンジ周辺にかけては、中長期的な展望のもとに、県都としての求心力を高めていくことができる新都心軸の形成を目指す。

《 事業評価 》

「新都心軸の形成」については、エリア全体及び各拠点のまちづくりの方向性やあり方などを調査研究するため、「新都心軸拠点導入機能等調査研究業務」等を実施し、平成21年度事業に継続させることができた。

担当 都市計画課
都市整備課

4 景観形成関係事業

予算現額 1,401,000 円
事業決算額 862,778 円
予算執行率 61.6 %

《 事業概要 》

公共性の高い建築物のデザインや色彩等に関する助言や県屋外広告物条例に基づく広告物の許可など、市域における良好な景観の形成に関する業務を行った。

なお、執行率が61.6%となった主な要因は、事業遂行時において効率的な予算執行を図ったことによる。

屋外広告物取扱件数

区 分	件 数 (件)
はり紙・立看板	78
広告板・広告塔	2,238
広告旗	59

区 分	件 数 (件)
電柱等広告	7,576
横断幕・アドバルーン	48
その他	610
合 計	10,609

《 事業評価 》

県屋外広告物条例に基づき、市域における広告物の表示及び広告物を掲出する物件の設置・維持について必要な規制を行い、良好な景観の形成に努めるとともに、公衆に対する危害を防止するため、広告物の許可及び違反物件に対する適正な指導を行うことができた。

担当 都市計画課

5 建築指導関係事業

予算現額 33,195,000 円
 事業決算額 28,068,894 円
 予算執行率 84.6 %

《 事業概要 》

建築基準法に基づき、建築確認申請の受付及び審査、中間検査、建築確認を受けた建築物等の完了検査を行った。その他、建築基準法の規定により、特定行政庁が認める許可等に関する事務を行った。

申請受付等件数

区 分	件 数 (件)
建築物等に関する確認	393
各種許可等	33
構造計算適合性判定	20

《 事業評価 》

審査・検査などの取扱いに関し、他の特定行政庁及び指定確認検査機関と情報交換を行うこと等により、円滑に事務を遂行することができた。

担当 建築指導課

6 開発指導関係事業

予算現額 659,000 円
 事業決算額 375,709 円
 予算執行率 57.0 %

《 事業概要 》

市内で宅地開発等を行おうとする者に対して、良好な宅地水準を確保するため、面積や形状により都市計画法による許可及び指導要綱等による確認に関する事務処理や指導を行った。

なお、執行率が57.0%となった主な要因は、事業遂行時において効率的な予算執行を図ったことによる。

区 分	件数 (件)
開発行為許可申請	53
予定建築物以外の建築物許可申請	5
建築物の新築、改築若しくは用途変更の新設許可申請	29

区 分	件数 (件)
地位承継承認申請	2
開発登録簿の写し交付	55
指導要綱・その他	139

《 事業評価 》

開発事業等の届出に際し、開発事業者等との協議を行い、より良好な住環境や景観の保全・創出のため、事業者等に協力を求めながら適正な指導を行うことができた。

担当 開発指導室

款 8 土木費 項 5 都市計画費 目 2 土地区画整理費

決算額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
503,520,000 円	円	円	円	円
				503,520,000 円 (うち都市計画税充当額) 157,115,000 円

1 土地区画整理事業 予算現額 575,047,000 円
事業決算額 503,520,000 円
予算執行率 87.6 %

《 事業概要 》

土地区画整理事業に係る建物移転補償費、宅地整地等工事費及び起債の償還など、事業の推進を図るため、土地区画整理事業特別会計へ繰出を行った。

《 事業評価 》

土地区画整理事業特別会計へ繰出を行うことにより、事業の推進に寄与することができた。

担当 都市計画課

款 8 土木費 項 5 都市計画費 目 3 街路事業費

決算額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
805,947,374 円	390,460,000 円	円	34,800,000 円	円
				380,687,374 円 (うち都市計画税充当額) 108,911,000 円

2 街路整備関係事業 予算現額 19,105,000 円
事業決算額 18,272,327 円
予算執行率 95.6 %

《 事業概要 》

街路整備事業を円滑に進めるにあたり、街路概況調査業務、街路事業に伴う保有地の除草業務を行い、県が事業主体で整備が進められている都市計画道路相川小戸木橋線街路事業への地元負担金の負担を行った。

《 事業評価 》

関係機関等との調整を図り、保有地の管理等を行うことにより、今後の街路整備事業の円滑な推進に寄与することができた。

担当 事業調整室

3 街路改良事業 予算現額 778,045,000 円
事業決算額 766,994,280 円
予算執行率 98.6 %

《 事業概要 》

道路整備計画により、市内の広域交流を促進する道路整備を対象とし、地域の活性化を図るため、幹線道路へのアクセスの改善や、現道拡幅を行い、円滑な交通の確保、安全性に配慮した都市計画道路の整備を行った。

区 分	所在地	内 容	金 額 (円)
上浜元町線	西古河町ほか3町	用地購入 2,883㎡ 建物補償 3件 側溝工 516.9m アスファルト舗装工 2,078㎡	722,678,014
浜田長岡線	長岡町及び一身田 上津部田	詳細設計 0.17km 用地・路線測量 0.80ha・0.14km	8,029,308

《 事業評価 》

上浜元町線については、計画どおり用地取得、道路工を行うことができた。今後も、引き続き用地取得等を行い、道路改良工事を進め、整備に努めていく。

浜田長岡線についても、計画どおり測量及び道路詳細設計業務を行うことができた。今後は、この成果をもとに、関係機関と協議を行い事業を実施していく。

担当 建設維持課
津北工事事務所

款 8 土木費 項 5 都市計画費 目 4 公共下水道費

決 算 額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源
4,781,000,000 円	円	円	円	円 4,781,000,000 円 (うち都市計画税充当額) 1,216,569,000 円

1 公共下水道事業

予算現額 4,884,112,000 円
事業決算額 4,781,000,000 円
予算執行率 97.9 %

《 事業概要 》

公共下水道事業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化するため、下水道事業特別会計へ繰出を行った。主に、雨水や不明水の処理に要する経費、流域下水道の建設に要する経費、下水道事業債の償還に要する経費等である。

公共下水道事業 4,187,258 千円 (繰出基準額 3,629,864 千円)
特定環境保全公共下水道事業 593,742 千円 (繰出基準額 457,626 千円)

《 事業評価 》

下水道整備を積極的に推進し公共下水道の普及を図る中で、下水道事業特別会計への適切な繰出を行い、経営の健全化を促進強化することができた。

担当 下水道政策課

決算額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他
709,560,959 円	256,200,000 円	円	345,400,000 円	円
				一般財源 107,960,959 円 (うち都市計画税充当額) 16,778,000 円

2 都市下水路整備事業

予算現額 684,490,000 円
 事業決算額 679,984,985 円
 予算執行率 99.3 %

《 事業概要 》

上浜地区・栗真町屋地区の浸水対策を重点的に行うもので、上浜都市下水路事業として約362ha、栗真町屋都市下水路事業として約144haの集水面積を整備する計画である。
 平成20年度は、雨水幹線等の管渠整備を行い、浸水区域の早期解消を図った。

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
上浜都市下水路（第六幹線）築造工事	一身田中野及び上浜五丁目	内径 2,200mm ヒューム管推進工 227m マンホール工 1箇所 立坑工 2箇所	240,795,200
上浜都市下水路（第六幹線）築造工事に伴う仮設道路設置工事	一身田中野	路体工 960㎡ 表層工 371㎡	4,418,400
上浜都市下水路（第六幹線）築造工事に伴う仮設道路整備（路面標示）工事	一身田中野	外側線 124m	157,500
栗真町屋都市下水路（第一雨水幹線）築造工事	栗真町屋	内径 1,650mm ヒューム管推進工 114m マンホール工 2箇所	107,690,938
栗真町屋都市下水路（第一雨水幹線）築造工事に伴う道路整備工事	栗真町屋	側溝工 690.9m 集水柵工 1箇所 表層工 1,760㎡	26,785,896

《 事業評価 》

雨水幹線等の管渠整備を行い、浸水区域の早期解消に向けた整備を計画的に推進することができた。

担当 下水道建設課

決算額	財 源 内 訳				一般財源 345,105,901 円 (うち都市計画税充当額) 38,267,000 円
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
543,516,784 円	98,250,000 円	4,400,000 円	91,100,000 円	4,660,883 円	

2 公園維持管理事業

予算現額 196,198,000 円
 事業決算額 193,767,151 円
 予算執行率 98.8 %

《 事業概要 》

津北工事事務所管内350公園、津南工事事務所管内155公園の健全な維持管理を行うため、地元自治会等への維持管理業務委託をはじめ、専門業者委託及び職員の巡視を含め、公園施設の適正な管理を行った。千歳山整備については、整備の方向性について自然環境の現状を踏まえての利用・整備のあり方を検討するとともに、現状の維持管理に努めた。

津北工事事務所

区 分	業務内容	金 額 (円)
自治会等への清掃及び管理業務委託	301公園	29,724,440
業者等への公園維持管理業務委託	除草、清掃、剪定等	60,313,129
公園施設点検等業務委託	浄化槽維持管理、遊具保守点検	6,795,929

津南工事事務所

区 分	業務内容	金 額 (円)
自治会等への清掃及び管理業務委託	127公園	11,711,100
業者等への公園維持管理業務委託	除草、清掃、剪定等	13,520,207
公園施設点検等業務委託	浄化槽維持管理、遊具保守点検	1,376,754

千歳山の保全と活用

区 分	業務内容	金 額 (円)
千歳山基本計画策定業務委託	基本計画策定業務委託	6,300,000
千歳山維持管理業務委託	樹木剪定、伐倒等	3,003,000

《 事業評価 》

公園数は、宅地開発等により新設公園の帰属が毎年増加するなか、既存公園の有効利用と地域の活性化を目的に、地元自治会等の諸団体に維持管理を委託している。しかし、自治会住民の高齢化や自治会離れにより地元管理が敬遠されるなか、愛着のある公園として地元有効利用を目的に505公園のうち、428公園において地元管理委託を行うことができ、適正な維持管理に努めることができた。

千歳山に係る整備については、基本計画策定業務とともに歴史的な経過を踏まえ、文化的、環境的側面等を活かした市民の憩いの場としての活用を図っていくため、一般市民と津市千歳山を考える会等の現地見学を実施し、整備の方向性等の意見を参考に協議を重ねることができた。

担当 建設維持課
 津北工事事務所
 津南工事事務所

3 公園整備事業

予算現額 331,712,000 円
 事業決算額 264,264,316 円
 予算執行率 79.7 %

自然環境を保全すると共に、自然と触れ合うことができ、教育・文化・福祉の拠点となる公園整備を行い、レジャーやスポーツを通して市民のゆとりと健康増進を図った。

なお、執行率が79.7%となった主な要因は、都市公園整備事業（事業費：46,200,000円）を平成21年度へ繰越したことによる。

(1) 都市公園整備事業

《 事業概要 》

市民の健康増進及び憩いと交流の場となるよう都市公園の整備を行った。

岩田池公園については、市内有数の渡り鳥の飛来地の保護と、市街地に残された数少ない自然林の保護・保全を行うために整備を計画し、開発団地との緩衝帯としての広場整備において、園路施設、休憩施設、排水施設等の整備を行った。

中勢グリーンパークは、周辺の自然環境を生かし、運動やイベント等が行える広い芝生広場を確保するとともに、来園者が自然と触れ合うことができる公園として、駐車場及びエントランス造成、芝生広場整備、園路整備等の整備を行った。

町民の森公園は、社会教育の中心として位置付け、教育・文化・スポーツ・福祉・健康の拠点とし、知育・徳育・体育に役立ち、緑に包まれた環境のなかで気軽にコミュニケーションが深められる場を提供することができる公園として、駐車場整備と第2グラウンド周辺整備を行った。

安濃中央総合公園は、スポーツ、レクリエーション等の機能を備えた総合公園として、福祉の増進に資することを目的とするため、散策路の造成、園路整備、植栽、休憩施設等の整備を行い、公園全体計画を完了した。

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
岩田池公園整備工事	垂水	基盤等整備 1.4ha 植生工、側溝工、階段工、柵工	16,276,639
岩田池公園整備工事	垂水	基盤等整備 1.4ha 園路舗装、 休憩施設、張芝、階段	37,368,296
中勢グリーンパーク整備工事	あのか台	基盤等整備 5.8ha 植生工、土壌改良工、客土工	46,935,309
中勢グリーンパーク整備工事	あのか台	園路広場整備 4.6ha 駐車場整備 0.9ha	25,000,000
町民の森公園整備工事	河芸町浜田	駐車場整備 0.5ha 舗装工、植栽工、照明工	32,405,564
安濃中央総合公園整備工事	安濃町田端上野	基盤等整備 2.2ha 法面整形工、植生工、柵工	5,794,914
安濃中央総合公園整備工事	安濃町田端上野	散策路等整備 1.6ha 散策路工、休憩施設工、植栽工	60,820,017

《 事業評価 》

各公園の特色を生かした整備計画を基本に事業を推進する中で、合併以前からの計画に関係機関と協議し、市全体における各公園の位置付けを再検討した結果、本年度で安濃中央総合公園の整備を完了することができた。

担当 建設維持課
津北工事事務所

(2) 各公園施設整備事業

《 事業概要 》

各公園施設の老朽化が進む中で、安全の確保と利用形態の変化に伴い、市民が日常的に利用でき、健康の増進と交流の場となるよう再整備を行った。

津北工事事務所

工事名	施工箇所	工事内容	金額(円)
古河公園ほか8園整備工事	古河町ほか	現場打ち小型擁壁 88m フェンス工 317m	11,501,344
一身田西公園ほか6園整備工事	一身田町ほか	側溝工 64m グラウンドコート柵工 25m	8,224,977

津南工事事務所

工事名	施工箇所	工事内容	金額(円)
西山公園法面改修工事	香良洲町	ブロック積 83m ³	4,018,350
高通児童公園外柵改修工事	久居西鷹跡町	ネットフェンス 129m	1,972,950
虹が丘くすのき公園整備工事	一志町虹が丘	植生工 153m ² 暗渠排水工 16m	1,813,929
東城山公園整備工事	城山2丁目	ネットフェンス 54m ベンチ 2基	1,733,550

《 事業評価 》

公園設置後年数が経過し、老朽化が著しい公園について、緊急度を勘案して各施設の整備を行うことができた。今後は、フェンスの老朽が著しい公園や、園内排水が悪い公園が増加傾向にあるため、年次計画による公園再整備について検討していく。

担当 建設維持課
津北工事事務所
津南工事事務所

4 緑化推進事業

予算現額 10,482,000 円
事業決算額 9,720,371 円
予算執行率 92.7 %

《 事業概要 》

都市緑化、地域緑化の推進を目的に、緑と花の市の開催、新築家屋への記念樹配付、緑化・美化運動を行った。

第6回津市民緑と花の市の開催 (平成20年10月2日から10月6日まで)
第7回津市民緑と花の市の開催 (平成21年3月26日から3月30日まで)

苗木配付等事業

事業名	配付件数(件)	金額(円)
新築家屋記念樹配付事業	249	187,351
生垣緑化用苗木配付事業	29	530,895
結婚・出生記念樹配付事業	結婚464、出生1,180	683,161
緑化・美化運動事業	77	1,700,649

緑化基金

平成19年度末 現在高(円)	平成20年度内			平成20年度末 現在高(円)
	利子(円)	寄付金(円)	取崩金(円)	
116,020,592	600,440	499,911	718,246	116,402,697

《 事業評価 》

お城西公園での津市民緑と花の市の開催、結婚・出生記念樹等の配付事業及び緑化基金を活用した新築記念樹配付事業、生垣緑化用苗木配付事業を行うことにより、地域の美化、緑化を進めることができた。

担当 都市計画課

款 8 土木費 項 5 都市計画費 目 7 市街地再開発費

決算額	財源内訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
160,076 円	円	円	円	円	160,076 円

1 市街地再開発事業 予算現額 207,000 円
事業決算額 160,076 円
予算執行率 77.3 %

《 事業概要 》

市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、建築敷地の統合・共同建物の整備及び道路・公園等の公共施設を一体的に整備する。

主要事業としては、本市の玄関口である津駅の交通利便性を生かし、土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、津駅前北部地区第一種市街地再開発事業を促進し、駅前にあふさわしい市街地の形成を図る。

なお、執行率が77.3%となった主な要因は、事業遂行時において効率的な予算執行を図ったことによる。

《 事業評価 》

総合計画に位置づけられた多様な交流の拠点となる都市核である津駅前周辺地区において、土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、継続した取組が必要である。

担当 都市整備課

款 8 土木費 項 6 住宅費 目 1 住宅管理費

決算額	財源内訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
541,358,105 円	32,000,000 円	円	20,000,000 円	224,920,770 円	264,437,335 円

2 住宅管理事業 予算現額 147,651,000 円
事業決算額 141,076,626 円
予算執行率 95.5 %

《 事業概要 》

入居募集、入居者の受付、入退去関係業務及び施設の維持管理修繕業務、家賃の収納管理事務を行った。

《 事業評価 》

市営住宅の入居に際して、適正な使用を周知し、施設維持の向上に努めた。

また、市営住宅の維持修繕等については、的確な対応を図り、日常生活に支障がおきないように努めた。

家賃滞納者に対しては、督促状の送付や納付相談のための来庁要請をかけて個別に納付指導を行い、毎月の納付誓約を進めるとともに、定期的に臨戸訪問し家賃の集金を行うことができた。

しかし、経済不況・景気の低迷による派遣切りなど失業、収入減の影響を受け、平成20年度は前年度収納率より下がる結果となった。今後も引き続き、家賃の収納率向上のため滞納者への納付指導を行っていく。

担当 市営住宅課

3 住宅新築資金等貸付事業

予算現額 85,900,000 円
 事業決算額 71,800,000 円
 予算執行率 83.6 %

《 事業概要 》

住宅新築資金等貸付事業に係る起債の償還及び事務費について、事業の安定化を図るため、住宅新築資金等貸付事業特別会計へ繰出を行った。

《 事業評価 》

住宅新築資金等貸付事業特別会計へ繰出を行うことにより、事業の安定化に寄与することができた。

担当 市営住宅課

4 住宅施設改修事業

予算現額 142,263,000 円
 事業決算額 136,968,582 円
 予算執行率 96.3 %

《 事業概要 》

市営住宅は昭和25年から建設が行われ、特に昭和50年前後において多数の棟が建設され、老朽化が著しいため、施設の改修や改善整備を行い、また耐用年数経過間近の団地は集約に向けた取組みとして、老朽化した新町1号館アパートの入居者に対して、移転説明会や個別面談の実施により移転の周知を図り、用途廃止に伴う移転が完了した。

区分	施工場所	内容	金額(円)
市営森団地及び野村団地耐震診断調査業務委託	森町及び久居野村町	2階建1棟、平家建1棟耐震診断	756,000
市営青木団地及び藤ヶ丘団地耐震診断調査業務委託	芸濃町雲林院及び芸濃町中縄	2階建2棟耐震診断	976,500
市営げにやま団地15号館外壁改修工事	神戸	4階建1棟 24戸対象工事	14,975,045
市営高洲町アパート1号館ベランダ手摺改修工事	高洲町	4階建1棟 24戸対象工事	5,880,000
市営西城山2号館アパート耐震補強その他工事	城山三丁目	4階建1棟 48戸対象工事	55,650,000
市営千鳥アパート公共下水道管接続その他工事	三重町津興	3階建1棟12戸対象 公共下水道管接続工事	1,979,250
市営千鳥アパート公共下水道管接続その他工事	三重町津興	3階建1棟12戸対象 遠隔水道メーター設置工事	1,963,500
市営大井アパートほか2アパート遠隔水道メーター取替工事	中河原ほか2町	4階建2棟、3階建1棟 76戸対象工事	5,508,300
市営げにやま団地6号館ほか4棟遠隔水道メーター取替工事	神戸	4階建5棟 128戸対象工事	11,550,000
市営藤方団地1号館及び2号館遠隔水道メーター設置工事	藤方	5階建2棟 60戸対象工事	7,157,850
市営げにやま団地5号館浄化槽改修工事	神戸	4階建1棟 32戸対象工事	16,561,367
市営小森A住宅解体工事	高茶屋四丁目	平家建1棟 2戸解体工事	896,700
市営阿漕B住宅解体工事	柳山津興	平家建2棟 2戸解体工事	1,568,700

《 事業評価 》

居住水準の向上と住宅の長寿命化を図ることを目的に、計画的・継続的な施設維持及び耐震化を図るため、地域住宅計画に基づいた、大規模改修等を行うことができた。

担当 市営住宅課

決算額	財 源 内 訳				
	国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,257,129,144 円	円	円	円	18,717,735 円	3,238,411,409 円

2 一般管理事業 予算現額 339,535,000 円
事業決算額 330,298,589 円
予算執行率 97.3 %

消防事務、職員の研修、被服の貸与及び庁舎の維持管理等を行うとともに、消防防災指導センターを設置し、市民の消防及び防災に関する知識の普及・啓発、訓練等に対する指導に努めた。

(1) 一般管理事業

《 事業概要 》

消防事務、職員の研修、被服の貸与及び庁舎の維持管理を行った。

《 事業評価 》

研修事業については、県消防学校への派遣研修、部内研修により、職員のスキルアップを図るとともに、職員の意識改革に努めることができた。

被服の貸与については、夏季における職員の安全を確保するため、夏用活動服の貸与に着手することができた。

(2) 消防防災指導センター設置運営事業

《 事業概要 》

市民の消防及び防災に関する知識、技術の習得と消防及び防災意識の向上を図るため、市民、事業所等が実施する訓練等に対する指導を行った。

区分	平成20年
訓練指導実施回数 (回)	227
訓練指導対象人数 (人)	15,995

《 事業評価 》

目標とする年間の訓練指導実施回数240回 (月平均20回) に対し、227回 (月平均約19回) 訓練指導を実施することができた。また、訓練内容別では、消火訓練 (全体の約19%) とともに、AED訓練 (全体の約18%) が多く、市民の救急救命に対する意識の高まりに込んでいるものと考えられる。

担当 消防総務課

3 救急救助事業 予算現額 40,081,000 円
事業決算額 39,330,649 円
予算執行率 98.1 %

《 事業概要 》

救急、救助活動を行うとともに、救急救命士の養成に関する事務や隊員の資質向上のための、救急事後検証会や研修会等を開催した。

区分	平成20年	平成19年	前年比増減
救急出動件数 (件)	11,289	11,392	△ 103
救助出動件数 (件)	139	120	19

《 事業評価 》

救急活動に従事できる救急救命士数は42名となり、救急体制の充実を図ることができた。今後も、救急・救助体制の強化のため、継続して救急救命士の養成や事後検証による改善を行い、プロトコルを遵守して業務の的確性の向上に努めるとともに、様々な救助事案に対応する技術を習得し、救助時間の短縮に努めていく。

担当 消防救急課

4 火災活動事業

予算現額 15,586,000 円
 事業決算額 15,120,119 円
 予算執行率 97.0 %

《 事業概要 》

火災活動を行うとともに、資機材の整備や三重県防災ヘリコプター運営協議会負担金の支出を行った。

区分	平成20年	平成19年	前年比増減
火災出動件数（件）	126	162	△ 36
損害額（千円）	224,869	174,087	50,782

《 事業評価 》

部内の整備計画に基づき、消防ホース、空気呼吸器等の資機材を整備し、消防装備の充実強化を図ることができた。今後も住民サービス向上のため計画的に消防資機材の整備と更新を図り、消防装備のさらなる充実強化を進めていく。

担当 消防救急課

款 9 消防費 項 1 消防費 目 2 非常備消防費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国支出金	県支出金	地方債	その他	
273,842,749 円	円	円	円	26,833,520 円	247,009,229 円

1 団運営事業

予算現額 306,212,000 円
 事業決算額 273,842,749 円
 予算執行率 89.4 %

消防団の運営及び消防団施設の維持管理を行い、火災活動等における地域の災害対応体制の向上に努めた。

(1) 団運営事業

《 事業概要 》

消防団員の報酬、費用弁償、被服費、資機材の整備等の運営費の支出を行った。

区分	対象人数（人）	報酬（円）
消防団員	2,101	62,891,292

《 事業評価 》

消防団の運営費として適正な処遇を保持し、防寒衣の貸与、消防ホースの購入による資機材の充実を図り、地域の防災力の向上に努めることができた。

(2) 団施設運営事業

《 事業概要 》

消防団活動に必要な詰所及び車輛の維持管理を行った。

《 事業評価 》

消防団関係施設の維持管理を適切に行い、地域の防災活動に寄与することができた。

担当 消防救急課

款 9 消防費 項 1 消防費 目 3 消防施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
294,223,443 円	15,421,000 円	47,800,000 円	104,000,000 円	48,930 円	126,953,513 円

1 消防施設維持管理事業

予算現額 235,408,952 円

事業決算額 110,494,074 円

予算執行率 46.9 %

《 事業概要 》

防災拠点としての機能と迅速な初動体制を確保するため、庁舎や車輛の維持管理を行った。

なお、執行率が46.9%となった主な要因は、地域活性化・生活対策として予算計上した河芸分署移転改修事業（事業費：101,300,000円）及び中署改修事業（事業費：22,900,000円）を平成21年度へ繰越したことによる。

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
中消防署中署庁舎改修工事	寿町	仮眠室個室化等の改修工事	56,595,000

《 事業評価 》

河芸分署移転改修事業において、署所の適正配置計画に基づき、河芸庁舎改修工事設計業務委託を行い、平成21年度中の分署移転に向け事業を推進した。また、中署仮眠室個室化等改修事業において、中署庁舎改修工事設計業務委託及び中署庁舎改修工事を行い、職場環境の改善を図った。また、発信地表示システム更新事業において、通信指令施設の一部である当該設備を更新し機能維持を図った。これらにより、防災拠点施設としての機能を向上及び確保し、火災・救急・救助体制の充実を図り、市民の安全・安心の確保を推進した。なお、庁舎・車輛の維持管理費は、その老朽化により苦慮するところであるため、計画的に更新整備を進めることにより対応していく。

担当 消防総務課

2 消防団施設維持管理事業

予算現額 9,533,000 円

事業決算額 9,430,533 円

予算執行率 98.9 %

《 事業概要 》

防災拠点としての機能と迅速な初動体制を確保するため、消防団施設や車輛等の維持管理を行った。

《 事業評価 》

消防団関係の消防資機材、施設の維持整備を行い、地域防災力及び初動体制の確保を図ることができた。なお、老朽化の進む車輛については、適切な維持管理に努めるとともに、計画的な更新整備を進めていく。

担当 消防救急課

3 消防車輛購入事業

予算現額 124,785,000 円
 事業決算額 116,564,374 円
 予算執行率 93.4 %

《 事業概要 》

消防力の向上、火災・救急活動の充実・強化を図るため、消防車輛の購入・配備を行った。

区分	配備場所	数量	金額 (円)
水槽付消防ポンプ自動車購入	西分署、南分署、一志分署	3台	76,860,000
高規格救急自動車購入	南分署	1台	15,225,000
救急資機材等購入	南分署	1組	13,562,010
指揮広報自動車購入	中署、西分署、河芸分署、芸濃分署	4台	10,153,500

《 事業評価 》

8台の消防車輛を更新配備し、消防力の充実強化を図ることができた。なお、耐用年数を経過した車輛については、部内計画に基づき、配備車輛を見直すとともに、更新整備を進めていく。

担当 消防救急課

4 消防水利整備事業

予算現額 45,780,048 円
 事業決算額 45,544,226 円
 予算執行率 99.5 %

《 事業概要 》

消防水利の設置及び維持管理事業において、耐震性防火水槽及び消火栓を新設するとともに、既設水利の修理を行った。

区分	箇所数	内容	金額 (円)
消防水利の設置	9	消火栓の新設	5,490,425

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
下稲葉公会所耐震性防火水槽(60m ³ 級)設置工事	稲葉町	耐震性防火水槽(60m ³ 級)の新設	10,584,221
清水区民会館耐震性防火水槽(60m ³ 級)設置工事	安濃町清水	耐震性防火水槽(60m ³ 級)の新設	11,539,264
風早地区集会所耐震性防火水槽(60m ³ 級)設置工事	戸木町	耐震性防火水槽(60m ³ 級)の新設	11,469,563

《 事業評価 》

耐震性防火水槽3基及び消火栓9箇所を新設し、消防水利の充実強化を図ることができた。なお、消防水利の充足率が不足する地域に対しては、今後も引き続き消防水利の整備を推進していく。

担当 消防救急課

5 消防団車輛購入事業

予算現額 12,322,000 円
 事業決算額 12,190,236 円
 予算執行率 98.9 %

《 事業概要 》

地域の消防力の向上、火災活動の充実・強化を図るため、消防団車輛の購入・配備を行った。

区分	配備場所	数量	金額（円）
小型動力ポンプ付積載車購入	香良洲消防団第3分団、美里消防団第3分団	2台	12,075,000

《 事業評価 》

2台の消防団車両を更新配備し、地域の消防力の充実強化を図ることができた。なお、耐用年数を経過した車両については、部内計画に基づき、配備車両を見直すとともに、更新整備を進めていく。

担当 消防救急課

款 9 消防費 項 1 消防費 目 4 水防費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国支出金	県支出金	地方債	その他	
862,155 円	円	円	円	円	862,155 円

1 水防訓練事業	予算現額	916,000 円
	事業決算額	862,155 円
	予算執行率	94.1 %

《 事業概要 》

水害時の防災対応力を強化し、水害に強いまちづくりを進めるため、水防訓練を開催した。

区分	実施日	実施場所	内容	参加人数（人）
水防訓練	6月1日	雲出川河川敷	積土のう工法等	700

《 事業評価 》

水防訓練を通して関係機関の連携と参加住民の防災意識の高揚を図ることができた。なお、訓練実施内容については、各団体からアンケート調査を実施して、その結果を基に今後の水防訓練実施方法等について検討していく。

担当 消防救急課